

変貌する  
20世紀  
ヨーロッパ  
ガラス  
プロダクトへ、  
アートへ

## 近美コレクション

Museum Collection

2025年1月5日[日] — 3月16日[日]

北海道立近代美術館 展示室 A 2F

紀元前からの歴史を有するガラスの制作は、専門的な知識と技術を持つガラス職人の手業に委ねられてきましたが、ヨーロッパでは19世紀後半から、デザイナーとガラス職人が協働するようになりました。さらに20世紀に入ると、ルネ・ラリックが精巧な型や機械を用いた製法により、生活を美しく演出するガラスの製品(プロダクト)を、大量に、しかも高い品質を保って生産することに成功します。画家、彫刻家、デザイナーがガラス会社に招かれて芸術面で指揮を執る動きはヨーロッパ各国で活発になり、デザイン性に富んだプロダクトの生産に国を挙げて取り組む、スウェーデンのような国も現れました。

また、芸術家が自己表現のための素材としてガラスを選ぶようになったのも20世紀のことです。特に20世紀後半には、「うつわ」や「装飾品」としての役割が期待されていた従来のガラスとは一線を画す、作家性やメッセージを力強く主張する作品が盛んに発表されました。

ガラスという素材の持つ可能性が、プロダクトへ、アートへ広がった20世紀。この時代のヨーロッパ・ガラスの潮流を、当館のコレクションによりご覧ください。

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質
1	インゲボリィ・ルンディーン/ オレフオッシュ社	花器・りんご	デザイン:1957	ガラス:被せガラス、宙吹き

## 1 デザイナーとガラス職人の協働

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質
2	エミール・ガレ	ガラス工場風景文花器	1900	ガラス:被せガラス、金属箔封入、型吹き、エッチング、エングレーヴィング
3	エミール・ガレ	虫文花器	1889	ガラス:被せガラス、型吹き、エングレーヴィング
4	エミール・ガレ	シクラメン文碗	1898~1900頃	ガラス:被せガラス、型吹き、マルケトリー、エングレーヴィング
5	エミール・ガレ	カトリア文花器	1900頃	ガラス:被せガラス、金属箔封入、型吹き、エッチング、エングレーヴィング
6	ガレ工房	プラム文花器	1925~30頃	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング
7	ガレ工房	こぶし文扁壺	1904~14頃	ガラス:被せガラス、エッチング
8	ガレ工房	湖水風景文花器	1920代	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング
9	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェエ工房	おだまき形花器	1900頃	ガラス:虹彩ガラス
10	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェエ工房	波状文花器	1900頃	ガラス:虹彩ガラス
11	ドーム	あざみ文花器	1900頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング、エングレーヴィング

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質
12	ドーム	クロッカス文花器	1904～14 頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング、エングレーヴィング
13	ドーム	マロニエ文花器	1907～10 頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング
14	ドーム	鹿文花器	1925～30 頃	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング
15	ドーム	樹木文花器	1935	ガラス:型吹き、エッチング
16	ドーム	花器	1930 代	ガラス:エッチング
17	ドームとルイ・マジヨレル	鉄枠吹込花器	1922 頃	ガラス:斑文装飾、鉄枠吹込
18	ドームとルイ・マジヨレル	鉄枠吹込花器	1922 頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、金属箔封入、鉄枠吹込み
19	ミュレル兄弟	ランプ	1920 頃	ガラス、鉄:斑文装飾
20	ミュレル兄弟	花文花器	1910 頃	ガラス:被せガラス、金属箔封入、型吹き、エッチング
21	シュネデル工房	花文花器	1920 頃	ガラス:被せガラス、斑文装飾、エッチング、エングレーヴィング
22	シュネデル工房	幾何文花器	1920 代	ガラス:斑文装飾、被せガラス、エッチング
23	ドーム	昆虫文蓋物	1910 代	ガラス:パート・ド・ヴェール
24	ドーム	蝶文蓋	1910 頃	ガラス:パート・ド・ヴェール
25	ヴィクトール・アマリック・ヴァルテール	置時計	1915 頃	ガラス:パート・ド・ヴェール
26	ヴィクトール・アマリック・ヴァルテール	置物・青い鳥	1920 代	ガラス:パート・ド・ヴェール
27	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	木の葉文蓋物	1925～30 頃	ガラス:パート・ド・ヴェール
28	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	あざみ文鉢	1922	ガラス:パート・ド・ヴェール
29	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	けし文碗	1925 頃	ガラス:パート・ド・ヴェール
30	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	ばら文花器	1922	ガラス:パート・ド・ヴェール
31	フランソワ＝エミール・デコルシュモン	双耳鉢	1927	ガラス:パート・ド・ヴェール
32	モーリス・マリノ	人物文扁壺	1920 代	ガラス:エナメル彩
33	モーリス・マリノ	栓付瓶	1929	ガラス:エッチング
34	アンリ・ナヴァール	花器	1930 代	ガラス
35	アンドレ・テュレ	花器	1950～60 頃	ガラス:被せガラス
36	アンドレ・テュレ	花器	1950～60 頃	ガラス:被せガラス
37	アンドレ・テュレ	花器	1950～60 頃	ガラス:被せガラス

## 2 プロダクトの開発

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質
38	ルネ・ラリック	花器・バッカスの巫女	型:1927	ガラス:型押し
39	ルネ・ラリック	花器・いんこ	型:1919	ガラス:型吹き
40	ルネ・ラリック	花器・蛇	型:1924	ガラス:型吹き
41	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ〈勝利〉	型:1928	ガラス:型押し
42	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ 〈とんぼ〉	型:1928	ガラス:型押し
43	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ 〈孔雀の頭〉	型:1928	ガラス:型押し
44	シーモン・ガーテ/ オレフオッシュ社	高脚杯	デザイン、制作: 1923	ガラス:吹込み
45	シーモン・ガーテ/ オレフオッシュ社	人物文ゴブレット	デザイン:1920 制作:1926	ガラス:型吹き、エングレーヴィング
46	シーモン・ガーテ/ オレフオッシュ社	馬に人物文コンポート	デザイン:1920 制作:1925	ガラス:型吹き、エングレーヴィング
47	エードヴァルド・ハルド/ オレフオッシュ社	花器	1942	ガラス:宙吹き、エッチング、被せガラス
48	エードヴァルド・ハルド/ オレフオッシュ社	鉢	1939	ガラス:宙吹き、エングレーヴィング、被せガラス
49	エードヴァルド・ハルド/ オレフオッシュ社	鉢・雷雨	デザイン:1922 制作:1953	ガラス:被せガラス、型吹き、エングレーヴィング
50	エードヴァルド・ハルド/ オレフオッシュ社	鉢・葡萄の収穫	デザイン:1924 制作:1925	ガラス:型吹き、エングレーヴィング
51	エードヴァルド・ハルド/ オレフオッシュ社	皿付鉢・ヴェール	デザイン:1919 制作:1922	ガラス:型吹き、エングレーヴィング
52	エーヴァルド・ダールスクーグ/ コスタ社	蓋付高脚杯・テスピス	デザイン:1927 制作:1927~31	ガラス:型吹き、カット、エングレーヴィング
53	エーヴァルド・ダールスクーグ/ コスタ社	蓋付台付鉢・ メリーゴーランド	1926	ガラス:型吹き、カット、エングレーヴィング
54	ヴィッケ・リンドストランド/ オレフオッシュ社	花器・真珠採り	デザイン:1934 制作:1938	ガラス:吹込み、エングレーヴィング
55	ヴィッケ・リンドストランド/ コスタ社	花器・洗濯	デザイン:1951頃 制作:1950代	ガラス:型吹き、エングレーヴィング
56	ヴィッケ・リンドストランド/ コスタ社	花器・秋	デザイン:1950~51 制作:1950代	ガラス:宙吹き、色ガラス封入
57	エードヴィン・エールシュトレム/ オレフオッシュ社	鳩に人物文花器	1953	ガラス:宙吹き、サンドブラスト、被せガラス
58	インゲボリィ・ルンディーン/ オレフオッシュ社	花器・顔	1968	ガラス:被せガラス、気泡封入
59	モーナ・モーラレス=シルト	花器	1960代	ガラス:被せガラス、カット
60	スヴェン・パルムクヴィスト/ オレフオッシュ社	鉢 ラヴェンナ	1952	ガラス:ラヴェンナ
61	スヴェン・パルムクヴィスト/ オレフオッシュ社	鉢・カンタラ	1944	ガラス:被せガラス、宙吹き
62	スヴェン・パルムクヴィスト/ オレフオッシュ社	鉢・カンタラ	1944	ガラス:被せガラス、宙吹き
63	ニルス・ランドベリィ/ オレフオッシュ社	チューリップグラス	デザイン:1957 制作:1950代末	ガラス:被せガラス、宙吹き

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質
64	ニルス・ランドベリイ/ オレフオツシュ社	チューリップグラス	デザイン:1957 制作:1950 代末	ガラス:被せガラス、宙吹き
65	ニルス・ランドベリイ/ オレフオツシュ社	チューリップグラス	デザイン:1957 制作:1950 代末	ガラス:被せガラス、宙吹き
66	アナ・アナー/コスタ工房	ホワイト・ボウル	1980	ガラス:被せガラス、エッチング
67	カイ・フランク	花器	1970 頃	ガラス:型吹き
68	タピオ・ヴィルツカラ/ ヴェニーニ商会	コンポート	1970	ガラス
69	タピオ・ヴィルツカラ/ ヴェニーニ商会	花器	1971	ガラス:インカルモ

### 3 表現手段としてのガラス

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質
70	イヴァン・マレシュ	卵	1997	クリスタルガラス:キャスト、部分的にカット
71	スタニスラフ・リベンスキー、 ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ	接触	1985	ガラス:キャスト
72	エルヴィン・アイシュ	インター=ネット	1997	ガラス:型吹き、エナメル焼付、エングレーヴィング
73	ベント・ボネ	人間	1985	ガラス:型吹き、エングレーヴィング
74	イヴァン・マレシュ	悪夢 I	1990	ガラス:キャスト、カット、研磨
75	ギゼラ・シャボーコヴァ	最後の門	1992	ガラス:キャスト、着色、カット
76	ジェルジ・ブツコ	竜	1996	ガラス:板ガラス、フュージング、ホットワーク成形、接着
77	ベッティル・ヴァッリーニ	静かなる旅	1985	ガラス:サンドキャスト
78	ダナ・ザーメチニーコヴァ	私の家族	1997	板ガラス、ミクストメディア:着色
79	ベルナール・ドゥジョング	円環	1994	ガラス(光学ガラス):研磨、失透
80	ウルズラ・フート	素描—日記より	1985	ガラス、鉛枠:被せガラス、ステイニング、エングレーヴィング、着色
81	ロナルド・ペネル	「危機に瀕して」—ヒューマニストの表現の試み	1994	ガラス:エングレーヴィング、カット、研磨
82	アンドリース D.コピール	ウニクム(トランフェー)	1981	ガラス:宙吹き、色ガラス溶着、サンドブラスト
83	パオロ・マルティヌツィ	無題	1987~88	ガラス、木:エングレーヴィング
84	ベルト・フレインス	張る	1987	ガラス、ワイヤー:板ガラス変形

\* 全て当館蔵